

採血用穿刺(せんし)器具の不適切な取り扱いについて、行政報告を申し上げます。

平成 14 年度から 18 年度にかけて、本市が実施した糖尿病予防教室におきまして、指先から採血する穿刺器具の不適切な取り扱いがありました。

血糖値を自己測定する際、穿刺器具の針については、1 人ずつ交換しておりましたが、皮膚と接するキャップについては、交換をせずに、そのつどアルコール消毒を行い、78 人の方々が使用したものです。

なお、平成 19 年 1 月以降は、キャップにつきましても 1 人ずつ取り換えて使用しております。

このたびの不適切な取り扱いにより、市民の皆様に対しまして、ご心配とご不安を与えましたことを深くお詫び申し上げます。

測定された方々には、お詫びの文書を送付しており、今後、肝炎ウイルス検査を無料で受診していただくなど対応してまいりたいと考えております。

以上、申し上げ、行政報告といたします。